



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida



## ロータリーのマジック

RI会長 ステファニー A. アーチック

第2570地区ガバナー 五十幡和彦  
第3グループ  
ガバナー補佐 倉片順司

### 入って良かったロータリー

#### 第3176例会 2025.6.25

—— 親睦活動月間 ——

天候 雨 (NO. 61-53)

会長 森 健二 幹事 大崎 光二

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 鎌田君、増島君

例会場: ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail [hannorc@hanno.jp](mailto:hannorc@hanno.jp)

- ・点鐘 森会長
- ・ソング 手に手つないで

#### 【会長報告】

1年間有難うございました。

前に、国際共同委員会の加盟という話をさせて頂きましたが、その結果が出ましたのでお知らせします。次年度の総クラブ数は地区で44クラブ。50から48、47という話をしていて数か月のうちに44クラブになっていてビックリしたのですが、その中で、賛成33クラブ、反対5クラブ、保留・その他が6クラブで、3分の2の賛成で国際共同委員会に地区として加盟することになりました。クラブには直接関係ありませんが、日本の地区全体でウクライナの精神的支柱になるという話だそうです。

#### 【幹事報告】

今年度の理事役員の方に「年度報告書の提出のお願い」を配付。期限は7/9(水)。できましたらメールでお願いします。本日18時「暖らん」理事役員・親睦活動委員への慰労・感謝の会。1年間どうも有難うございました。

#### 【委員会報告】

◎次年度幹事 都築君  
7/2 第2回理事会 11:30 ~

#### 【出席報告】無届欠席2 鈴木(勝)出席向上委員長

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
68名	4名	55名	80.88%

#### 【SAA報告】

伊澤副SAA

#### ◎ニコニコBOX

- ・60周年の記念誌編集委員の皆様ご苦労様でした。 土屋君
- ・森会長年度60周年事業が成功裡に終わり、一年間大変お疲れ様でした。 田辺君
- ・お蔭様で無事記念誌を配付することができました。ご協力有難うございました。 川口君、町田君

・町田委員長さん、素晴らしい記念誌有難うございます。お疲れ様でした。 馬場君

・昨日の始球会ゴルフコンペで優勝致しました。同伴者の天ヶ瀬会員、参加者の皆様、大変お世話になりました。 矢島(高)君

本日計12,000円、累計額1,551,146円。

◎2日例会当番は前島、森会員です。

#### 【バッジ引継式】



## 《第61期 第3回クラブ協議会(2)》 司会：森会長

### ◎小谷野大典親睦活動委員長



矢島高明、坂本淳二、本間由也、佐々木翔、秦誠、岩泉憲、皆川豪、小崎都雄委員と担当。活動内容としては、9月、親睦ゴルフコンペ、移動例会「森林公園ヘリティジ・リゾーツ」能を鑑賞。10月、夜間例会。11月、60周年記念チャリティーコンペ。12月、クリスマス家族例会。3月、飯能日高合同夜間例会・ゴルフコンペ。4月、夜間例会。5月、親睦家族旅行「長崎」。会員、ご家族が多く参加されました。延べ人数で439人。このように大勢の会員、ご家族に参加して頂き、親睦を図れたと思います。入会間もないメンバーの多い委員会ですが、他の会員との親睦も図れ、また委員会メンバー同士の仲間としての絆も深められたかなと思います。役員会の打ち上げにまで呼んで頂き誠に有難うございます。森会長はじめ役員の方にはいろいろお世話になりました。会員皆様にも温かいご支援を頂きました。一年間どうも有難うございました。

### ◎都築敏夫職業奉仕委員長



吉島一良、沢辺瀬壱、望月潔委員と担当。活動計画として①例会時に「四つのテスト」の唱和を掲げ計画通り実施できました。②「ロータリアンの行動規範」の普及については職場や生活の場面で実践して頂けるよう、再確認の意味で、1月の例会で四つのテストの唱和に続き、行動規範を朗読しました。③卓話は「世界中の食卓に笑顔の花を唯一無二のパッケージ」と題し、横浜RC所属、(株)シンメイ代表取締役社長・湯川惣一郎様にお願いしました。迫力のある卓話で、商品開発や職員にやる気を起こさせる取り組み等、勉強になる内容だったと思っております。1年間大変お世話になりました。有難うございました。

### ◎前島宏之社会奉仕委員長



大附属義、大津力委員と担当。主な事業として、10月「社会奉仕月間」に地区の地域社会奉仕委員長・五十嵐敦子様に卓話ををお願いしました。年末には森会長、大崎幹事と共に飯能市長を訪問し、歳末たすけあい募金をお届けしました。今年は「昭和百年」とことで、天覧山頂上の看板を改修させて頂きましたが、内容に誤りがあり、関係者な

らびにご覧頂いた皆様に大変ご迷惑をお掛けしました。改めてお詫び申し上げます。1年間いろいろお世話になりました。今後共よろしくお願ひ致します。有難うございました。

### ◎神田敬文環境保全委員長(鳥居崇委員長の代読)



神田敬文、森田美明、井上隆委員と担当。環境保全の重要性を理解し、身近なところから行動に移すことで地球環境の保全に貢献するという方針で活動して参りました。3月の担当卓話では環境緑水課・関田課長より地球温暖化についてお話を頂きました。

きました。飯能市環境学習用品給付事業への支援として、4/25 森会長、大崎幹事と共に市長室を訪問し10万円を寄付。メイン事業の「第23回飯能新緑ツーデーマーチ」には会員、家族合わせて15名が参加、懇親会にも12名の参加を頂きました。エンドポリオのTシャツを多くの方に着て頂き良いアピールができたのではないかと思います。1年間ご協力有難うございました。

### ◎吉澤文男国際奉仕委員長



山川莊太朗、福地義夫委員と担当。駿河台大学の留学生によるスピーチコンテストへの参加協力を予定しておりましたがコロナウイルス感染症の流行以降、実施されず、今年度も参加協力はございませんでした。7/28 飯能市国際交流協会主催「外国人による日本語スピーチ発表会」が行われ、9か国の方々のスピーチを聴き、飯能RCから参加賞を進呈しました。同協会主催の飯能市「ブレア市高校生訪問団歓迎交流会」にもRCとして参加させて頂きました。担当卓話は駿河台大学副学長・平井純子先生に「Well-Beingな地域づくり」との演題でご講演頂きました。創立60周年記念事業の会場担当として設営に協力。今年度、国際大会への参加はありませんでしたが、次年度以降チャンスがあれば行かせて頂きたいなと思っております。1年間ご協力有難うございました。

### ◎本橋 勝青年奉仕委員長



吉田武明、志岐祐二委員と担当。2/8・9「飯能RC冠」の「せせらぎ杯中学生卓球大会」が第35回記念大会として盛大に行われ、埼玉県はもちろん東京都、群馬県、千葉県、茨城県からも参加がありました。開会式と表彰式には森会長はじめ大崎幹事、馬場直前会長、神田直前幹事、川口会報・広報委員長、志岐委員と私とで参加させて頂き、優勝チーム

「調布市立第五中学校」には森会長より賞状、優勝カップを渡して頂きました。その他、入賞された学校、選手に賞状や記念品等を皆さんから渡して頂きました。5/15 担当例会には、卓球大会実行委員長でもある、大川学園高等学校校長、駿河台大学客員教授の岡部一宏様から「子どもたちに笑顔を 子どもたちから元気を」とのタイトルで卓話を頂きました。「第38回飯能市スポーツ少年団春季野球大会兼第5回飯能RC杯少年野球大会」が5/18より美杉台野球場で開幕。9チームによる熱戦は現在1回戦3試合が行われています。7月中に2回戦、3位決定戦、決勝戦が行われる予定です。RCは年度が替わりますので、中里(忠)会長、川口青少年奉仕委員長に引継ぎ、継続して頂くようになります。今年1年いろいろとお世話になり有難うございました。

#### ◎天ヶ瀬和弘会員増強委員長



矢島巖、吉田行男、内沼博史委員と担当。はじめに今年度の増強活動にご協力頂きました全ての会員皆様に心より感謝申し上げます。有難うございました。皆様のご支援とご協力があつてこそ今年の増強活動をスムーズに行うことができました。結果と

して合計7名の新会員を迎えることができました。この成果は、私達のクラブの魅力や活動が新しい仲間を引き寄せる証しであり、非常に喜ばしいことでした。新会員の皆様はそれぞれ異なるバックグラウンドや経験をもっており、クラブの活動に新たな視点やアイデアをもたらしてくれるでしょう。今後も私達、クラブが更なる成長を遂げるために引き続き増強に努めて参ります。既存の会員の皆様がより一層活躍できる環境を整えることも重要ですので、皆様のご意見やアイデアを出し合って頂ければ幸いです。来年度、小谷野委員長に良い形でバトンタッチし、飯能RCの発展に寄与できるよう努力して参ります。1年間どうも有難うございました。

#### ◎細田吉春会員選考委員(島田秀和委員長の代理)



今朝、委員長から電話がございまして、元気な声で(笑)、「大変で弱ってるので頼む」という話でした。

「会員選考委員会」というのはRCの根幹、一番重要な委員会だと思っております。「入会したい」という人があつても私共の委員会でダメだと言えば絶対

ダメなんですね(笑)。ですからそんなことの無いように今年度は森会長の「感動を呼び起こそう」という方針になるべく合った委員会活動をしたいなと思っておりました。一人でも多くの方にRCに入って頂いて感動をして頂きたい。それが「楽しい感動」であつて頂きたい。今まで

60年間に感動のあった行事や事業を取り上げて「より楽しい感動」を皆でやっていきたいなと考えております。私はもうセミの抜け殻みたいな人間で(笑)、島田委員長も70、4、5、6ですから若い人とのコミュニケーションがとれないのです。どうしたかと言うと、会員増強の天ヶ瀬委員長にお願いして天ヶ瀬さんの方から「こういう人が居るよ」という連絡がありますから、それを聞いてダメだとは言わなかったのです。そして7名入会という話ですから大変良かったなと思っております。今年1年何もやらなかつたような感じも無くはないのですが(笑)、それなりにやってきたと思います。これからもよろしくお願いします。今年1年有難うございました。

#### ◎田辺 實職業分類委員長

安藤泰雄委員と担当。森会長の方針でもあります多様性に関して、今年度、新入会員7名中2名は銀行の代表者変更でしたが5名の新入会員全員が新職種という特筆すべき素晴らしい増強でした。情報サービス業、生コンクリート製造業、レジャー業、不動産業、コンサルティング業であります。職業分類委員会としては大変光栄がありました。飯能RC 60周年にふさわしい大きな成果の一つと思っております。1年間有難うございました。



#### ◎川口 浩会報・広報委員長

藤原秋夫、中川律子委員と担当。3124例会号から今日お配りした3175例会号まで36部を発行し、残すは本日の号です。これを30日、6月最後の日に印刷所にもって行けば私の仕事は終わります。最後までよく働くでしょう?(笑)

会報の写真は卓話の講師の雰囲気が出るように何枚も撮って良いものを使うようにしました。そのため例会の会場で皆さんの視線を遮りながらシャッターを押しまくっていたので、迷惑をかけたような気がします。「報道」という腕章をした迷惑なカメラマンに自分がだんだんなっていくようでちょっと心配していました。話し言葉と違って書き言葉は永遠に残りますので、特に会報に載せる場合、固有名詞に関しては文字の間違いが絶対無いようにかなり神経を使いました。また、個人情報が特定されるようなところは表現を変えたり気を遣って編集してきたつもりです。夜間例会、ツーデーマーチ、親睦旅行、クリスマス例会、表彰された方、慶事の方の写真もなるべく載せるようにしたため、4頁を超える号がかなり多くなってしまい、反省点としては経費が結構掛かってしまったというところです。先週、次年度の委員長の本間さんと編集をお願いしている業者の方と打ち合わせをして、そ

の点についてと、今後の会報・広報のあり方について話し合いをもたせて頂きました。おそらく次号からはより素晴らしいものが皆さんのお手元に届くと思いますので期待してください。担当卓話は歯科医師の遠藤先生に食中毒について話して頂きました。公共イメージの委員長としては、エンドポリオのイベントである東松山の「日本スリーデーマーチ」と「飯能新緑ツーデーマーチ」に多くの会員にご参加頂き大変有難うございました。60周年記念誌は本日無事にお届けできましたのでホッとしています。1年間本当に世話をになりました。有難うございました。

#### ◎町田誠一雑誌委員長



毎月配付される「ロータリーの友」の主だった興味深い記事の紹介を、大野康、鎌田泰由委員と3名でローテーションを組んで展開して参りました。短い持ち時間ではありますが緊張感をもって発表してきたつもりです。担当例会

には軽井沢町議会議員の利根川泰三様をお呼びし、「軽井沢町の現状」についてのお話を願いましたが、持ち時間の都合もありほとんど自己紹介で終わってしまったような卓話になり(笑)、打ち合わせをしっかりすれば良かったと反省しております。すみませんでした。今年度は60周年記念事業で記念誌の作成を仰せつかり、私の雑誌委員会と川口委員長の会報・広報委員会の6名で担当して参りました。同時に、森会長はじめ執行部の方々、多くのメンバー、事務局の西川さん、西脇さんに大変ご協力を頂き、どうにか森年度に配付を終えホッとしております。作成に当たりましてはいろいろあり、8か月程頭から離れなかつたのですがどうにか今日お配りすることができました。文化新聞の方には格別なるご協力を頂いたことをお伝えして報告とさせて頂きます。1年間有難うございました。

#### ◎中里昌平ロータリー財団委員長



増島宏徳、田中健一委員と担当。今年度、財団に対する特別寄付は年度初めに森会長、大崎幹事、大野(泰)S A A、細田(吉)会員と、4名の方から頂きました。引き続き小川会員、沢辺会員より頂いて6名。その後細田(伴)会員よりフェローの申し出があり、吉島会員

はベネファクター。これで8名。さらに新井会員、山川会員がベネファクター、中里(忠)会員がフェローと、合計11名の方から頂いたわけです。2ケタは飯能RC始まって以来ではないかと思います。いずれもドル建てで1,000ドル。円安の折ですから高い時の倍くらいの円で寄付頂いたのではないかと思います。有難うございました。

時間があるようですので別のお話をしたいと

思います。先週G7がカナダのバンフで開催されました。15年前の2010年、カナダのトロントでRI国際大会があり、カナダ行きを計画しまして飯能からメンバー11名で行って参りました。バンフはカナディアン・ロッキーの観光拠点になっている所で、大変美しいカスケードという山があります。小さな町なのですが大変に美しい町です。コバルト色をした美しい湖や、何千年も続く、厚さが300mもあるようなコロンビア大氷原も見て参りました。印象に残っている所です。マリリン・モンローの『帰らざる河』のロケ地になったのがバンフを流れるボーカー川で、非常にきれいな川です。そのほとりにある「バンフ・スプリングス・ゴルフ・コース」で、参加11名の中で2組でゴルフをやって来たのも良い思い出になっております。ロータリーを通じて良い経験をすることができました。他にも海外はアメリカ、イタリア、ロシア、オーストラリア、タイ、中国、韓国、台湾、香港と参りました。タイと香港はRIではなかったかもしれません、いろいろと行って参りまして、この歳になると良い思い出として残っております。事あるごとにお話しているのですが、RCはバッジにある通り「インターナショナル」、国際的な組織であり、バッジ一つで世界中どこでも通じているわけです。今年度のガバナーのテーマが「入って良かったロータリー」でしたが、どうか皆さんも機会をとらえてロータリーを利用していろんな世界を体験して頂くことをお勧め致します。余計なことをお話し申し訳ありません。有難うございました。

#### ◎伊澤健司米山記念奨学委員長



福島毅委員と担当。7月「アルカーサル迎賓館川越」で開催された米山記念奨学委員会セミナーに参加し、米山記念奨学委員会についての講演を聴いて参りました。10月には同じ会場で開催された米山記念奨学生による日本語スピーチコンテスト

に参加。中国、韓国、ネパール等からの留学生7名によるスピーチを聴いて参りました。「留学生から見た日本の未来」というテーマでしたが、日本語も大変流暢で、日本の少子高齢化、エネルギー政策、環境問題等、多岐にわたり大変よく考察していました。また、今年度は米山記念奨学会の特別寄付を中里(昌)会員、新井会員、島田会員、小川会員、神田会員、私・伊澤の6名から頂き、米山記念奨学会から飯能RCに対して「第30回米山功労クラブ」としての感謝状を頂きました。厚く御礼申し上げます。担当例会は3月、ベトナムからの奨学生ドートウイリン様に卓話を願いました。「日本を感じたこと」と題し、日本とベトナムの違いについて感じたことをお話しして頂きました。1年間ご協力を賜わり誠に有難うございました。